

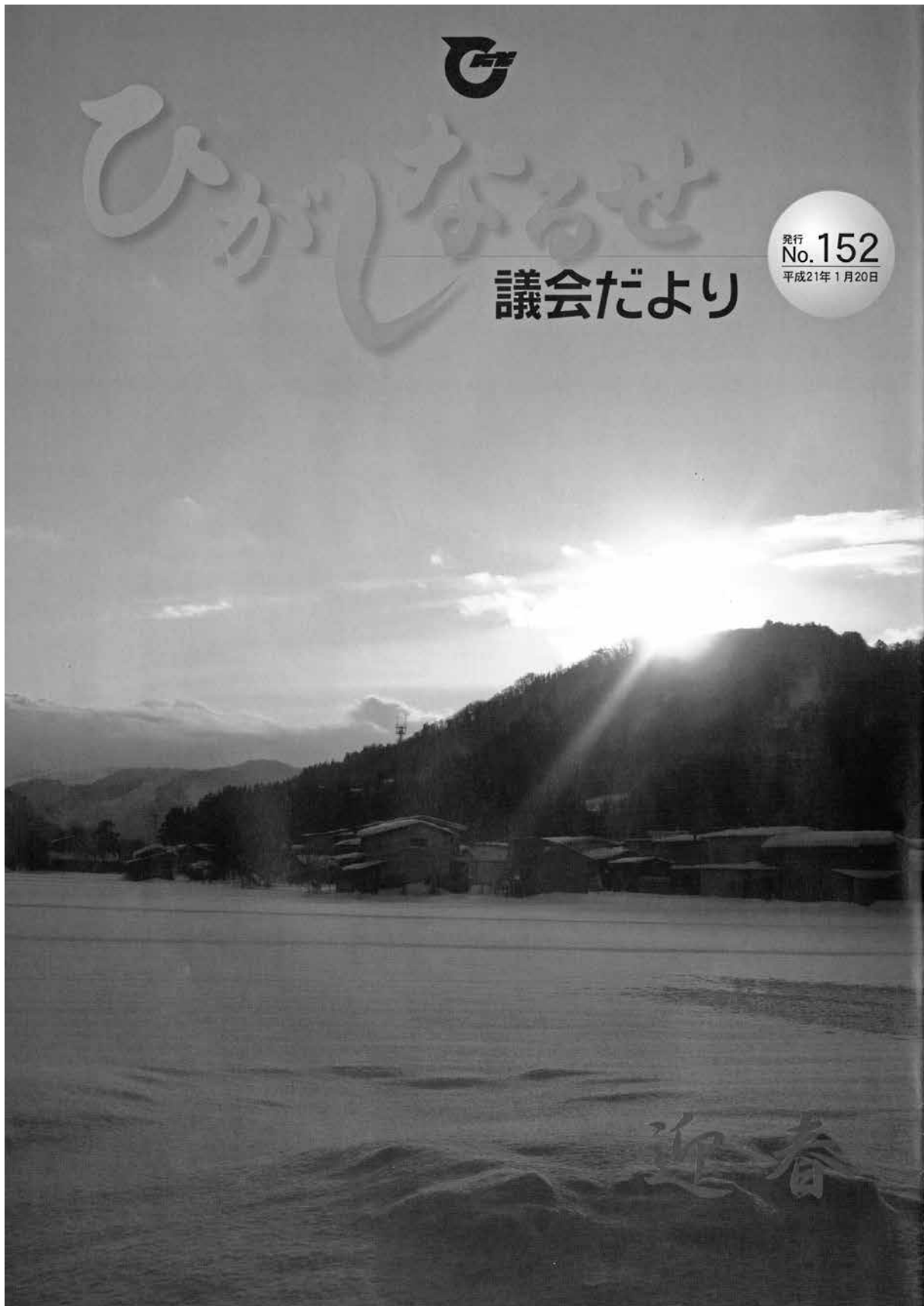


ひがしなるせ

議会だより

発行 No. 152

平成21年1月20日



迎春

年頭によせて



議長
富田 義行

激動の社会情勢、今こそ一丸となって明るい村づくりを

明けましておめでとございます
年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、岩手・宮城内陸と震源地からの距離をほとんど同じくする大地震にわが村も襲われ、交通・観光・各種産業面なども含め大きな打撃を被りました。

当村では、人命や一般住宅などに関する大きな被害はありませんでしたが、隣接する自治体では、死傷者や、今なお行方不明の方もおり、自宅に戻れず仮設住宅などで冬を過ごさねばならない方々もおります。

ご遺族や関係される皆様のご心労に對しまして、心からお見舞いを申し上げますように、一日も早く災害からの復興が果たせますよう「元氣を出してがんばりましょう」と、励ましの言葉を送りたいと思います。

また、わが村に各位から寄せていただきました激励とお見舞いの温かいお心遣いに對しまして、議会からも深くお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、昨年を振り返れば、国際社会と共に我が国社会の激動も特徴的な年でした。

年末の新聞が特集する過ぎた一年の十二ユースにその激動は象徴して取り上げられていました。が、世界も、国内も、政治も、経済も、物事の条理はずれた道を歩めば、いつかはその無理が破綻することを教えられた一年のような気がいたします。

近年の歴史をみても、平和に敵対する侵略戦争は、政治的にも経済的にも日本も含めてその無理は決して通りませんでした。

米国によるベトナム戦争しかり。旧ソ連を始めとする東欧諸国の民主主義とは相いれない国家体制も、長い時間がかかりましたが崩

壊しました。实体经济とかけ離れたマネーゲームの行き着く先を最も象徴的に体験したはずの日本の金融・経済界も、資本主義のルールから外れた道を見つけた結果の世界経済のこのような危機を予見する目がなく、投機経済に追従したのでしよう。しかし、このゲームもついに破綻しました。

この間、世界も、日本も、「新自由主義と構造改革」に翻弄され続け、気づいてみれば国民の生活は、大きく分ければごく一部の富める層と生活苦を抱える層の二極構造になり、先進国と言われる国々で、住む場所を持たぬ、働く場所を持たぬ若者が増え続けるという現象も起きています。

社会に、無法がまかり通るようであれば、最低限のルールが守られなければ、人心が荒廃し、国の存立が脅かされます。

若者が希望を持ってない社会、国を背負ってきた高齢の方々が安心な老後を送れない国、雇用不安、子育てで不安のある社会に明るい未来はあるのでしょうか、否でしょう。

政治も経済も、結局は一人一人の人間の小さな努力、総合の力で成り立ち、国が形づくられるものはずです。

構造改革の正体が見えた今こそ、国でも地方でも、党派を超えて困難を憂えるすべての人々が手を結び、地方と農業を守れ、働くものを守れ、中小業者を守れ、この国を支える土台を育てる政治をさせなければならぬ、刷新の時だと思います。

村議会も、現在の村がおかれてある固有の現状をよくとらえながら、村民の代表機関としての責務を果たすことをお誓いし、住民各位のご多幸・ご健勝を心より願ひまして、私の年頭のご挨拶といたします。



行政報告



TSB(東中スペシャルバンド)大活躍!

▼全国学力テストの好結果により、小中両校に各方面から視察・取材が多数入る。
▼小中連携教育については、後半の地育分野で、小中教職員がお互いの理解を深める。
▼地域学習教室は中盤に入り、生徒たちにも好評。
▼縄文・縄縄事業については、遺物・遺構が多数確認された。産業文化祭、小中学校で展示した。今後も村民へ紹介し、六千年前に思いを馳せてほしい。
▼児童生徒の活躍については各種コンクールでの受賞、全

県ミニバスケット大会出場決定などの大活躍をした。湯沢雄勝小中音楽祭では東中生全員による吹奏楽・合唱を披露し、会場全体に感動を与え、高い評価をいただいた。
▼教育委員の視察で、新たに実施される「小学校の外国語活動」について岩手県紫波町の日詰小学校を視察した。
▼本村の学校給食への事故米メラニンの使用はない。今後安全な給食を提供する。
▼東小体育館の解体始まる。来春の建築着工をめざす。

▼地震の影響による三セク関連の売り上げは、約1億5千万円の減となっており、壊滅的な状況であるが、重要な雇用の場であり、今後、何らかの対策を講じたい。

▼ふるさと納税は11月末で38件、217万9千円となっている。

▼10月25日に120周年記念式典を「ゆるるん」の竣工式と併せて実施。産業文化祭や社会福祉大会なども同時に開催した。11月1日からは、デイサービス事業を開始している。

▼昨年に引き続き、低所得者世帯などを対象に「灯油購入券」を支給した。

▼1等米比率は98.1%、トマト・枝豆・アスパラ・いちごの4作物の販売総額は、昨年比約86%にとどまっている。

▼災害復旧事業は、一部来年度に繰り越すものの、年度内には発注を終える見込み。

▼森づくり税の活用事業として掃部畑地区のスギの強度間伐を県事業で実施。

▼合併処理浄化槽事業による大字岩井川地区の設置割合は、69%となる見込み。

▼幸寿苑の大規模改修(ボイラー・ショートステイ増床)は年内には完成する見込み。

ふるさと納税は二百万円を越える

皆さんからの請願・陳情

12月定例会に提出された陳情は次のとおり決定した。

件名	審議結果
1 労働者派遣法の改善のため意見書を提出することを求める陳情 秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章 他1名	採 択
2 介護保険制度の抜本的改善を国に求める意見書採択を要請する陳情 秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳 他1名	採 択
3 医師・看護師不足を解消し、安心して地域医療を進めるために国・県に意見書提出を求める陳情 秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳 他1名	採 択
4 「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書についての陳情 日本労働者協同組合連合会センター事業団秋田事業所 所長 横道 隆	採 択
5 特別支援教育支援員の配置に関する陳情 秋田県教職員組合雄勝支部 支部長 高橋 典夫	採 択
6 ペット移動火葬車使用に対する取締及び罰則強化に関する陳情 日本動物霊園連合 代表 久喜 清外	採 択
7 田子内宮田地区村道舗装工事について 田子内宮田地区受益組合 組合長 鈴木 儀一	採 択

[1 から 4 の陳情については、国など各関係機関に意見書を送付した]

12月 定例会

12月9日から11日までの会期で定例会が開かれ、平成20年度の各会計補正予算並びに各種条例の制定及び改正などの議案が提出された。会期の最終日には、議員発議による国の機関などへの意見書案が提出され、これらすべての議案は全会一致で原案可決・同意された。



新春恒例の消防団出初式

人権擁護委員の推薦に同意

任期満了による人権擁護委員一名を次のとおり推薦することに満場一致で「同意」した。



高橋みち子 氏
58歳
椿川字下段
【新任】

過疎地域自立促進計画を変更

次の事業を過疎地域自立促進計画に追加した。
・光ファイバーネットワーク整備事業
・消火栓整備事業（滝ノ沢地区）

地域交流センター設置条例の一部改正

公民館大柳別館（旧大柳小学校）と克雪管理センターを地域交流センターとして位置付け、再活用を図るため条例の一部を改正した。名称も次のとおり改められた。
公民館大柳別館 ↓ 成瀬川交流館
克雪管理センター ↓ 大柳センター

住民基本台帳カード等の利用に関する条例及び印鑑条例の一部改正

住民票、印鑑証明等各種証明書を自動交付機により交付するため、関係する条例の一部を改正した。
自動交付機は防災情報センターに設置され、年末年始を除き午前七時から午後九時まで証明書を発行する。二月二日から稼働予定。

国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金の額が次のとおり改正された。これは平成二十一年一月一日以降の出産から適用される。
改正前 三十五万円 ↓ 改正後 三十八万円

光ファイバー網整備に2億1千万円追加など 2億5千159万3千円追加の一般会計補正予算を可決

一般会計補正予算の主なもの

【歳入】

- ◎固定資産税等増・・・・・・・・・・・・・・・・・・162万円
- ◎地方交付税増・・・・・・・・・・・・・・・・・・156万円
- ◎まちづくり交付金増・・・・・・・・・・・・・・・・950万円
- ◎地域情報通信基盤推進交付金・・・・・・・・7,000万円
- ◎地域活性化緊急安全対策交付金・・・・・・・・1,286万円
- ◎夢プラン応援事業費補助金増・・・・・・・・163万円
- ◎災害復旧事業費補助金増・・・・・・・・643万円
- ◎土地貸付収入増・・・・・・・・・・・・・・・・191万円
- ◎土地売却収入増・・・・・・・・・・・・・・・・135万円
- ◎過疎対策事業債増・・・・・・・・・・・・・・1億4,130万円
- ◎災害復旧事業債増・・・・・・・・・・・・・・250万円

【歳出】

- ◎光ケーブル設置工事費・・・・・・・・・・・・2億1,000万円
- ◎公有林管理費減・・・・・・・・・・・・・・△103万円
- ◎福祉灯油購入助成費・・・・・・・・・・・・120万円
- ◎介護保険特別会計(介護サービス)繰出金追加・300万円
- ◎民間保育所運営費負担金追加・・・・・・・・650万円
- ◎夢プラン応援事業費補助金追加・・・・・・・・326万円
- ◎簡易水道特別会計繰出金追加・・・・・・・・750万円
- ◎中学校パソコン機器借上料減・・・・・・・・△127万円
- ◎公立学校施設災害復旧費減・・・・・・・・△213万円
- ◎土地取得費追加・・・・・・・・・・・・・・131万円

議決事項

平成20年度東成瀬村簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)の専決処分の承認を求めることについて (歳出項目の組替)
人権擁護委員推薦につき議会の意見を求めることについて (2ページに関連記事掲載)
過疎地域自立促進計画の変更について (2ページに関連記事掲載)
地域交流センター設置条例の一部を改正する条例について (2ページに関連記事掲載)
住民基本台帳カード等の利用に関する条例の一部を改正する条例について (2ページに関連記事掲載)
印鑑条例の一部を改正する条例について (2ページに関連記事掲載)
公民館設置条例の一部を改正する条例について (大柳別館を廃止)
平成20年度一般会計補正予算(第4号) (2億5,159万3千円 追加)
平成20年度国保特別会計(事業勘定)補正予算(第2号) (2,468万3千円 追加)
平成20年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (555万9千円 減額)
平成20年度介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号) (財源組替)
平成20年度介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第2号) (300万9千円 追加)
平成20年度簡易水道事業特別会計補正予算(第4号) (300万4千円 追加)
平成20年度下水道事業特別会計補正予算(第3号) (繰越明許費の補正)
国民健康保険条例の一部を改正する条例について (2ページに関連記事掲載)
村議会会議規則の一部を改正する規則について (議会全員協議会を公式な協議調整の場と規定)

十二月臨時会

十二月十九日に臨時会が開催され、次のとおり工事請負契約の変更契約の案件が全会一致で可決された。

◆工事名
北部地区簡易水道事業導水管敷設工事(2工区)
五千五百六十五万円

◆変更後の契約額
五千七百四十七万三千三百円

◆変更前の契約理由
導水管布設工の水路横断に伴い、工法に変更が生じたため

一月臨時会

一月六日に臨時会が開催され、契約関係の議案四件が全会一致で可決された。

工事請負契約の変更契約を締結

◆工事名
北部地区簡易水道事業導水管敷設工事(2工区)
五千七百四十七万三千三百円

◆変更後の契約額
五千九百二十二万七千六百円

◆変更前の契約理由
原油高により主要な工事材料の価格が著しく高騰したため

工事請負契約を締結

◆工事名
ラジオ中継放送所施設建設工事(矢櫃地内)
八千四百万円

◆契約相手方
宮城県仙台市青葉区上杉三一五―十七株式会社エヌエイケイアイテック

◆工事名
合併処理浄化槽設置工事(7工区)
(ジュネス栗駒スキー場内)
五千六百七十万円

◆契約相手方
東成瀬村田子内字田子内六番地
大橋建設株式会社
代表取締役 古谷秀克

除雪ドーザ購入契約を締結

◆契約相手方
千百三十四万円

◆契約相手方
横手市外目字壇森四十四―二
コマツ秋田株式会社
横手支店長 小林富雄

一般質問

佐々木 健 夫 議員

低迷・今こそ行政主導の農業所得向上対策を

村長／振興策への提言をいただき応援したい



問 アメリカ発金融危機の波及で、横手市周辺でも自動車関連会社の解雇が四百三十人と報道された。働き盛りで、これからが子ども養育費が増してくる方々は大変である。低迷の時こそ経験のある農業による所得の向上を目指すのが手取り早い改善策と思う。農家の意向を重点に農家と村の協議を数多く重ね、若い後継者が飛びつくような農業形態を示すなど、今こそ行政が行動を起こすべきと思うが如何か。

答 アメリカ発金融危機の波及で、横手市周辺でも自動車関連会社の解雇が四百三十人と報道された。働き盛りで、これからが子ども養育費が増してくる方々は大変である。低迷の時こそ経験のある農業による所得の向上を目指すのが手取り早い改善策と思う。農家の意向を重点に農家と村の協議を数多く重ね、若い後継者が飛びつくような農業形態を示すなど、今こそ行政が行動を起こすべきと思うが如何か。

村長 農業振興についてはいろいろな座談会や夢プラン事業など個々の相談にも具体的な対応をしてきている。若い世代が夢を持てるような農業は大事なことであるが、村が主導して若者が勤ける場所を作っていくことは簡単には出ることではないだろうと考える。しかし、農業振興の意見などを出して下さる方があれば積極的に応援したい。また、役場の担当課で常に提言の受け入れ窓口を設けているので積極的に提言していただきたい。

問 新しい地域交流センターは岩井川コミセンの代わりの施設であり、コミセンよりも使い勝手が悪いものではないかと思うし、デイサービスセンター部分との線引きが複雑で管理が難しいと思うのでセンター部分の管理形態はどのようになるのか。また、デイサービスセンターについても今ままであり幸寿苑が管理運営していくものか何うか。

答 新しい地域交流センターは岩井川コミセンの代わりの施設であり、コミセンよりも使い勝手が悪いものではないかと思うし、デイサービスセンター部分との線引きが複雑で管理が難しいと思うのでセンター部分の管理形態はどのようになるのか。また、デイサービスセンターについても今ままであり幸寿苑が管理運営していくものか何うか。

村長 地域交流センターの管理は、年度内は現在のままで進めたい。デイサービスセンターについては十一月から独立した機関として所長を新たに任命し、村職員で給与体系もこれまでと同じ状況で運営している。また、交流センターはこれまでよりも利用しやすいようにしていきたいし、運営形態は両センターとも指定管理者制度を含めて年度内に一定の方向付けをしていきたい。

問 成瀬ダム完成後に村に入る成瀬ダム完成後に村に入る交付金の額はいくらか

答 成瀬ダム完成後にダムの発電所の電力を県が東北電力へ年間二千万円で売電する報道があった。地元村としてダム建設による恩恵が殆どないと言われているが、工事は進みそろそろの時期でありダム完成後に村に入ってくる交付金の額はどれ位か。

村長 ダム関連の交付金は想定であるが、ダムの発電開始二年後から交付されるダム所在市町村交付金三千万円。電源立地促進対策交付金として、発電施設の工事開始年度から運転開始後五年度まで最低限度年間四千万円。また、水力発電施設周辺地域交付金として、発電施設が使用開始された日から十五年を越えた市町村に対して年間四百五十万円交付される。この交付金は協力しだいで最長三十年間延長される。

(文責は質問議員)



不景気の今こそ農業振興を…

他の質問項目

- ・秋田県からの派遣職員の受け入れについて
- ・介護保険事業の業務、労働実態について



佐々木 正 夫 議員

地上デジタル放送及び高度情報化社会への対応は

村長／住民負担が少なくできるように早急に取り組む

問 村ではこれまでも情報化に重点を置いた施策や対策を取ってきた。二〇一一年七月二四日を過ぎると現在のアナログ放送が見られなくなる。今後二年半以内には、この対応を万全にしなければならぬ。地デジ対応が遅れている共同アンテナ受信組合地域、いわゆる共聴地域の対応が今後の課題である。今後重点的に整備する必要があるのは、全世帯が対象になる地上デジタル放送への対応とインターネット社会における高速の光ケーブル網の整備ではないかと思うが、村長の考えを伺う。

村長 補助事業で光ケーブル網が布設可能になりつつあるので、出来るだけ住民負担が発生しないようにして早期に整備したい。共同アンテナ地域の地デジ対応についても、難視聴解消事業としてメニューに入れていく。

再質問 生活保護世帯などには国から助成があるようだが年金生活者世帯又は低所得者世帯のテレビの購入が大きな負担になることが予想される。こうした方々に対するチューナーの購入設置費の一部を村独自で助成することは出来ないか。

村長 地デジチューナーの購入設置費の助成については、情報通信基盤の整備と合わせながら、今後検討する必要がある。少し時間をいただきたい。

保育所の運営について

問 四月から保育所が民営化されているが、これまでに見えてきた民間による保育所運営のメリットやデメリットについて伺う。

教育長 民営化してから八ヶ月しか経過していないので評価することは難しい。現時点では、民間保育所に対して国・県から保育所運営費が支給されることから、財政的な面がメリットとして考えている。デメリットについては、民営化するにあたって今までのサービスマニュアルを維持することを大前提としているので、現在のところ特にはない。

後期高齢者医療制度について

問 全国的に見ると、「この制度は実質的な負担増になるのではないか」、「高齢者の差別につながるのではないか」、「医療が必要な人が必要な医

療を受けられないのではないか」など、どちらかといえば問題の報道が多い。当村においても、制度運営についても、現在問題が生じていることがないか。また、対象となる被保険者サイドから見ると問題は思っても口にせず、我慢をしている方が多いように思えるが、村長の考えを伺う。

村長 二月から三月にかけて村内十ヶ所で行った説明会を行った。保険証が届かないというようなトラブルがないよう対象世帯を訪問して手渡し方式で交付した。字が小さくて見えにくいというような課題については、修正する方向である。村においては、報道されているような大きな問題は特に出ていない。

(文責は質問議員)



民営化後はじめての保育所発表会

他の質問項目

- ・ 農業対策について

常任委員会活動報告



◀ 村内施設訪問

総務教育民生常任委員会は11月10日に幸寿苑・デイサービスセンターなるせ・小中学校・保育所を訪問。運営状況や現在抱えている課題などについて聞いた。

▶ 村内工事状況視察

産業建設常任委員会は11月10日に災害復旧工事・生活道路整備工事などの現場を視察。工事の進捗状況と成果の確認をした。



◀ 先進地行政視察

総務教育民生常任委員会は11月21日に横手市を訪問。指定管理者による老人福祉施設の運営状況について視察した。

▶ 先進地行政視察

産業建設常任委員会では11月28日に岩手県住田町を訪問。林業振興と木質バイオマス普及・活用の取り組みについて視察した。





◀ 首都圏なるせ会総会

11月16日に第20回目の総会が開催された。約250名が参加し、ふるさとの話題でにぎわった。今年には総務教育民生常任委員会が参加。(常任委員会が輪番で参加)

中央要望会 ▶

11月17日に村当局と合同で要望会を実施。秋田県選出等国会議員10名と総務省・財務省・国土交通省を訪問し、地震災害復旧支援や成瀬ダム建設促進などについて要望した。今年には総務教育民生常任委員会が参加。(常任委員会が輪番で参加)



議員発議で政府等に意見書を提出

12月定例会において、道路整備が確実に進むための予算を確保することを求める意見書案が議員発議により上程され全会一致により可決。東成瀬村議会として次のとおり政府等関係機関に提出した。

道路は、地域社会にとって最も基本的な社会資本であり、道路整備を求める地方の声は切実である。日常生活道路の整備、住民が安全で安心して暮らせるよう防災・減災対策、さらには、維持・修繕等道路管理を引き続き講じていく必要がある。地方自治体はこのような道路整備を行うため、道路特定財源によってようやく必要な道路整備財源を確保してきた状況であり、これまでは、道路特定財源相当額が地方の財源として確保されなければ、現行の整備水準は確保できなくなる。また、一般財源化に際し、道路予算を減額し、道路整備以外に充てることは、到底納税者の理解を得ることはできず、これまでどおり受益者負担の考え方に基つき適切に道路整備予算に充てるべきである。

このたびは、暫定税率を当面維持するとともに、地方の活性化に資する基金整備のため、道路を中心として、用途の自由度を高めた新交付金制度を創設すること、新交付金の規模を一兆円とし、地方道路整備臨時交付金に上乗せするものとする骨子案が示されたが、今後の道路整備に関する制度の具体化に当たっては、道路整備はもろろん、維持・除雪を含めた生活道路整備に関する地方の切実な声に耳を傾け、将来、地方が発展するための社会基盤を整備することで地域経済の活性化が図られるよう、政府に対して次のとおり引き続き着実に実施できるように、地方が必要とする道路整備の確保を図るとともに、新交付金の制度設計に当たっては、地方の意見を十分に反映すること、補助事業をはじめ道路予算全体を確保し、真正に必要とされる道路整備を着実に進めることができるようにすること。

議員倫理条例に基づく報告

「政治倫理確立のための村議会議員の兼業に関する条例」の規定により、村長から次のとおり報告があったので公表する。

◎ ディサービスセンター軽自動車購入

● 請負人氏名	タゴナイ自動車整備工場	佐々木七男
● 請負契約等の内容	随意契約	
● 契約金額	百七十七千七百六十円	
● 納付金	十一月十四日	
● 納入期日	十一月二十六日	

● 請負人選定理由
村内に事務所を置く自動車販売業者



キラ☆チェン

イルミネーションと雪のコラボレーション
に子ども達は大喜び!

四季の ONE
SHOT

私もひとこと



滝ノ沢
後藤 美菜さん
(東成瀬中学校2年)

「東成瀬中のハーモニーを響かせて」

私たちの学校では去年から東中スペシャルプラス(TSB)の活動に取り組んでいます。

はじめ全校で吹奏楽をやるのは無謀な挑戦だと思っていました。ですが、練習を進めていくうちに一人一人の音が出るようになり、数週間後には全校でハーモニーが作れてとても驚きました。普段見つけられなかった全校の可能性が光り出した瞬間でした。音楽が生み出す幾つもの可能性をすばらしいと感じました。学校祭で披露し、来て下さったお客さんたちから大きな拍手をいただいた時は、とても嬉しい気持ちになりました。

今年は校外にも活動を広げ、たくさんの方々に私たちの演奏を聴いていただき、「上手だったよ」という声をもらいました。TSBで気持ちがつながる。TSBで笑顔が広がる。そんな東成瀬中の新たな伝統となるためにも、来年も続けていきたいです。そして、この活動を通し、村の皆さんが笑顔になれたらと思います。

編集室

▼新年を迎え「心」を新たに、今年こそ平穏な一年であってほしいと願うのは私ばかりではないだろう。

▼二〇〇八年は石油製品、ガソリンなどの価格高騰等で家計を圧迫された。

▼サブプライムローン問題をきっかけに、金融関係の危機が百年に一度と言われる世界不況へと発展した。その影響を受けて大企業でさえ次々と正社員や派遣社員を解雇したことにより、多くの国民が職や住む所を失い困っている。早く明るい見通しになってほしいと願うばかりである。

▼六月に発生した岩手・宮城内陸地震で被災した建物や主要道路、そして、住民の「心の被災」の復旧はもう少し時間を要するだろう。

▼暗い話題が多かった二〇〇八年だったが、「全国学力テストの好成績」「スポーツ」「合唱」「吹奏楽」と村の子供達の活躍が明るい話題を提供してくれた。

▼二〇〇九年は、私たちみんなで、子供達が更に力を伸ばせる環境づくりに努力しなければと思う。

(委員・佐々木 武)

■発行/東成瀬村議会 ■編集/議会広報対策特別委員会
T019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1
TEL.0182-47-3411 FAX.0182-47-3117
E-mail:gikai@vill.higashinaruse.akita.jp

■印刷/株式会社増田印刷所